

工房夢来夢来

かわらばん

開所 10 周年記念誌

平成 16(2004)年 11 月



お花見

平成16(2004)年3月 智光山公園

工房夢来夢来は
在宅の障害者が
作業をしながら
集える場所です。

開所十周年を迎えるに当たって

工房夢来夢来 代表 吉田 幸子

身体障害者の皆さんとボランティアの人達がお互いに協力して、なにかを作り出していくということは、大変な努力と頑張りを必要とします。でも、みんな一生懸命に取り組み、一つの作品が完成した時に見られる喜びは、夢来夢来の財産とっていいでしょう。

当施設は平成七年九月、狭山市障害者団体連絡会が発起人となって、閉じこもりがちな障害者の人たちが自宅から出て、なにか作業をしながら多くの人たちと交流を深め、また社会参加が出来る場所として、柏原にあった「はばたき作業所」の跡地に、関係者の努力と熱意によりスタートしました。そして翌年六月、狭山台南小学校の空き教室の一角に流し台、障害者トイレ、点字ブロックなど必要な設備が取り付けられ、「在宅障害者デイサービススポット」として、毎週月曜日、水曜日、金曜日の午前十時から午後三時まで開所する運びとなりました。

以来夢来夢来は、障害者とボランティアがともに協力して活動することを基本に、様々な作品作りに、また作品の開発に取り組み、現在は機織り、編み物、文化刺繍、洋裁(小物)、椅子作り、それにパソコン等幅広い活動を続けており、その成果は福祉の店「アミー」で販売し、その作品の売上金は当施設の運営費に当てております。その他開所日以外にも様々なイベント、たとえば「ふれあい広場」、「みちくさバザー」、「S a ーの街福祉バザール」への参加、全員でのお花見、新年交流会、大掃除、毎月定例の運営委員会など活動しております。また隣接している狭山台南小学校の児童と、総合的学習の授業協力を行い、学校ならではの触れ合いをもっております。

私と工房夢来夢来との関係は、開所当時からの長いお付き合いになりますが、平成十一年四月から代表を引き受け、さまざまな活動を体験して障害者自らが運営する貴重な施設として、認識を深めております。

平成十五年度より狭山市から補助金をいただくことになり、独立した事業所として今後も在宅の障害者が作業をしながら集える場所として、狭山市をはじめ関係機関との連携を密にし、さまざまな課題に取り組んでいかなければならないと痛感しております。

最後になりましたが、お忙しい中この十周年記念誌にご寄稿いただいた皆様に深く感謝申しあげるとともに、今後とも皆様の温かいご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

目

次

- 開所十周年を迎えるに当たって 吉田 幸子
- お祝いの言葉
 - 工房夢来夢来開所十周年に寄せて 狭山市長 仲川 幸成
 - 工房「夢来夢来」開所十周年祝辞 狭山市福祉部長 渡辺 陌男
 - 開所十周年おめでとうございます 狭山市社会福祉協議会会長
小高 誠太郎
- 開所十周年を祝う
 - 夢来夢来の更なる発展を 井上 幸子
 - 思い出 勝又 菊枝
 - おもい おもい おもい
想い 理念 重い 樺澤 幸雄
 - 工房十周年に 田中 進一
 - 夢来夢来と出会って 時田 孝子
 - 十周年おめでとうございます 堀 文子
 - 夢来夢来さんとの交流を通して心豊かに 狭山台南小学校校長
山本 武夫
- 作文紹介
 - 車イスになり足になったアルミ缶 狭山市立狭山台中学校二年
室岡 郁美
- 開所十周年に寄せて 夢来夢来通所者の皆さん
 - 田内 かつえ 阿部 陽子 荒井 昭子 石渡 ヤス子
 - 小野 孝子 菊田 順子 岡田 信子
 - 小沢 桂子 琴野 陽子
 - 佐藤 芳子 城下 登志子 鈴木 由美子
 - 高田 サチエ 高橋 三郎 富田 悦子

鳥海 理一 中田 亜由美 福井 恵子・カレン
福島 ふさ子 福島 みさ子 星野 トリ子
増島 喜代美 松本 清子 三浦 京子
森川 敏夫 諸口 玉枝 山口 由紀子 塩田 光子

- 活動報告
平成七年(一九九五)から平成十五年(二〇〇三)
- 編集後記 山川 早苗

※ 本誌に掲載しているイラスト画は、夢来夢来通所者の作品です。

お祝いの言葉



工房夢来夢来の開所十周年に寄せて

狭山市長 仲川 幸成

工房夢来夢来の開所十周年を心よりお祝い申し上げます。

工房夢来夢来におかれましては、平成七年九月に福祉作業所移転後の施設において開所し、その後、狭山台南小学校内へ移転して以来、障害者、ボランティアを中心に、作業を通して障害者の社会参加の促進や自立生活技術の習得、相互親睦などを進めてこられました。また、ふれあい広場や各種バザーへの参加を始めとして、小学校児童との交流など、各種活動に積極的に取り組まれ、着実にその成果をおさめられておりますことに、心からお喜び申し上げます。

さて、本格的な少子・高齢化社会の中で、障害者の高齢化や障害の重度化、重複化が進むとともに、価値観の多様化等に伴うライフスタイルの変化等社会環境の変化は著しいものがあり、国においても、介護保険制度や支援費制度を導入するなど、障害者福祉の施策が大きく変化してまいりました。

このような中で、障害者の自立や社会参加の意欲はますます高まっております。

当市におきましても、「元気な狭山をみんなでつくる」を市政運営の基本に、だれもが住み慣れた地域でお互いに理解し合い、助け合い、ともに生活できる地域社会を目指し、地域福祉の向上に取り組んでまいりたいと考えておりますので、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、工房夢来夢来の限りない発展と会員皆様のご多幸、ご活躍を心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

工房「夢来夢来」開所十周年祝辞

狭山市福祉部長 渡辺 陌男

開所十周年おめでとうございます。皆様とボランティアの方々の日々のご努力で、ここまで来られたと思います。深く敬意を表させていただきます。

狭山市役所の一階、福祉の店「アミー」に並んでいる品はたくさんありますが、何となく見過ごしてしまえばそれまでですが、気をとめて見れば手作りの感触が伝わってきます。

作っている現場、狭山台南小学校内の工房「夢来夢来」に行ってみますと、作者の熱い思いが強く感じられます。障害があるからといって、家に引きこもってはいはもったいない。障害でないところを活かして、何か社会のために役立つことをしたい。多くの人と話をしたい。そういう気持ちの人たちが、六つのメニューの中からその人に合った物作りに挑戦されています。そして、それを支えるボランティアの大いなる協力で、みごとな作品が出来上がっています。材料を用意したり、道具・機械を改良したり、技術指導をしたり、会員と同じように通ってきて、共に支えていることがわかります。

これからも、この輪を大切にたくさん品の物を作っていて、多くの市民に提供してください。そして、一人でも多くの障害者が「夢来夢来」に通って、個々の能力を発揮してもらえればと思います。福祉部としても障害者の自立のための環境整備に努めてまいります。

継続は力なりといわれます。明日に向かって、力強く進まれますことを願ってお祝いの言葉とさせていただきます。

開所十周年おめでとうございます

狭山市社会福祉協議会会長

小高 誠太郎

工房「夢来夢来」におかれましては、この九月(平成十六年)に開所十周年をむかえられるとのこと誠におめでとうございます。

平成七年九月狭山市はばたき作業所跡に、在宅の障害者を対象に作業所を開設してから十年。平成八年六月には、現在の狭山台南小学校に移転し、障害者とボランティアの皆様が作業を通して集い、夢来夢来を築いてこられました。その間、さまざまなご苦勞があったことでしょう。その折々に、障害をお持ちの皆様とボランティアをはじめご支援くださった方々のご努力で困難を乗り越え、今日のような素晴らしい実績を持つ作業所にされたことに敬意を表する次第であります。

過日、作業所を見学させていただきました。作業をされる三部屋が、それぞれの内容に相応しい掲示や機器の配置から大変活気に満ちた雰囲気を感じました。文化刺繍・編み物・洋裁・機織り・パソコン・牛乳パックを使っての椅子作りなど様々な活動をされ立派な作品を作り上げておられることに敬服いたしました。

結びに、工房「夢来夢来」のご発展と通所者皆様のご健勝をお祈りいたします。



開所十周年を祝う



夢来夢来の更なるご発展を

井上 幸子

工房「夢来夢来」十周年記念おめでとうございます。

当初は、在宅で障害を持つ人達が、気軽に出かけられる場所として考えられ、そして狭山障害者団体連絡会の援助により工房が開所することができました。その為に、施設(工房)見学にも行きましたが、何も無いところから始める工房とは、ほど遠いものがあり、思えば、手さぐり状態だったような気がします。そんな中で、利用者も、サポートする人も、模索しながらの取り組みで工房に近い形になったということが思い出として残っています。

そんな基盤があって、市の援助により、狭山台の小学校の空き教室に移転ということで、再出発となりました。今では利用者も、サポートする人達も増え、活動内容も充実され、地域の中で皆人が一緒になって社会に啓もうされていることを聞いて嬉しく思っています。

これからも皆様方のご健康をお祈りして、工房「夢来夢来」のますますのご発展を願ひまして、ここにお祝い申し上げます。

思い出

勝又菊枝

工房夢来夢来開所十周年を迎えられ、おめでとうございます。

私は十数年前「車椅子と仲間の会」でボランティアとしてお手伝いをしていた時、当時の会長をしていた山川さんに、在宅の障害者を対象にリハビリをかねた作業所で「手芸」を教えてほしいと声をかけていただき、何かお役に立てればとお手伝いをすることにしました。籐で編んだり、粘土、水引き、いろいろな材料を使い、みんなで作る楽しさ、出来上がった時の喜びを感じていただき、又、良い作品は市役所「アミー」で販売する事になり大変喜んでいただけました。

柏原の作業所から狭山台南小学校に移転してからは場所も広く使えるようになり、これからも長く続けられ、使っていただく人に喜ばれるような作品をと思い、昔私も教えていただいた(今でも使っています)牛乳パックを利用した椅子を教えたところ、リハビリにもよくボランティアさんと共同作業が出来るのでとても評判が良く、今でも作り続けているようですね。

これからも多くの方に利用していただき、皆様の温かいご理解と御協力をお願いし、最後に工房夢来夢来の益々のご発展とご健勝を心からお祈り申し上げます。

おもい おもい おもい
想い 理念 重い

榊澤 幸雄

狭山市においても画期的だった。工房夢来夢来の名前で出来た、障害者の方々がそして家族の方々が発言し作り上げた、障害者のデイケア。早いもので狭山台南小学校の空き教室を利用出来るようになってからも、もうこの年数です。当初の設立の理念に動かされて引越しや掃除やのお手伝いから、戴いた荷物(ミシン、ワープロなど)の運びや設置などボランティアとして沢山のことを学ばせて貰いました。大勢の人がかかわり、交流があり、いろいろな出来事があり、一つ一つが皆、基は最初の「想い」でありそれにつながっている事をこの年数を経てそして離れてみて、感激しつつ想いだしています。

障害のある人々が自分たちで協力者を得ながら自立して運営してゆく「夢来夢来」の理念は狭山市にとっても素晴らしいことですし、重い想いです。

これからも頑張ってください。

工房十周年に

田中 達一

「十周年お祝いを申し上げます」

私が工房へ関わったのは、バブル期の終わりの頃平成八年～十一年のことでした。

身体障害者の自立生活や、障害を持っても就労することへの興味を持って、身体障害者団体の、発足当時のことや目的を知りたくて、狭障連に関わり、その関連で工房へも平成八年頃から関わり、十一年になるともっぱらピアノの練習をしに工房に通っていたふしもありました。

平成九年の夏頃、ホンダ労組から、パソコンの寄付があって、以前から行っていた名刺作成も、数人で関わるようになりました。

体温調節もままならない通所者のために、エアコン設置の要望書の提出をしたりもしました。担当課のご努力で夏休み明けには、冷暖房機が設置されました。

また、調理に必要とする熱量を賄うためには電気ヒーターによるものではまなりません。それまで教室で利用が難しかった、調理用のプロパンガスも設置され、ガスを利用した調理などもできるようになりました。その頃の夢は、通所の仲間たちで、独立した運営が出来ないかということでした。

平成十一年、私は自宅近くの身体障害者養護施設に、義兄の助言で勤務することになり、工房への通所が不可能になりました。

工房は、その後活動が認められ、助成金で運営できるようになったことを、聞いております。

そんな工房に、現在は外部からの傍観者として「工房ガンバレ」と声援を送っています。

夢来夢来と出会って

時田 孝子

十周年おめでとうございます。

平成七年、阪神淡路大震災、地下鉄サリン事件が起こった年、私も大きな手術をして、それまで働いていたのを辞め、自宅養生をしていました。これからは自分の為生きよう、さて、何をしようと思案しているところ、夢来夢来に出会いました。夢来夢来が狭山台南小学校に引っ越した時でした。私は水曜日だけの参加でしたがそこで織り、染め等を教えて頂きながら作品にしていく喜びを体験しました。当時自分で織ったタペストリーが今も私の部屋に飾られています。又、皆で育てた生藍で染めた半襟は友達にも喜ばれました。

いつからか私は通所してくる方々の昼食を作るようになり、その期間の方が長かったように思います。一汁一菜の食事でしたが百円で賄った苦労を今は懐かしく思います。手先を動かす事が好き、料理が好きな私には楽しんでちょっぴりボランティアもでき一石二鳥いや三鳥にもなっていました。

夢来夢来を離れて二年半、現在は所沢の地域に根を下ろしたボランティア、勿論夢来夢来での活動が大いに活かされています。

人は泣いた分だけ優しくなれる、笑った分だけ幸せになれる、と聞きました。これからも泣いたり笑ったりしていこうとおもっています。

夢来夢来の益々の発展をお祈りいたします。

十周年おめでとうございます

堀 文子



夏の暑さも残る九年前の九月一日、障害者のための作業所ができると聞いてお手伝いに駆けつけました。

その頃は狭山市の隅っこ、柏原に授産所跡を借り受けていました。行政の手に拠らないということは自分たちが作り上げていくということ。何をどうすればいいかもわからないまま皆が頭を寄せ合い知恵を出し合って進めていきました。何もわからないというのは人間を大胆にしてくれるのかもしれませんが。今から思うと暗中模索、手探り状態でわき目振らず皆頑張っていたのですね。

そんな中でも少しずつデイサービスとしての形が整ってきたのが狭山台への引越しの頃でした。

夢来夢来ならでは作業内容はとても魅力的です。

既存の作業所ではないものを求めてひとりひとりの知恵袋が随分活躍しましたね。十年目を迎えて多くの成果が上がっていることは皆さんの笑顔を見ればわかります。それはおそらく自分に合った作業ができる所だからなのでしょう。

かねてからの念願である、通所用専用車を是非、是非常備できるようになるといいですね。

いつも通所のネックになるのは移動手段でした。障害者にとっては車での移動は欠かせません。ボランティアに頼るだけでなく、通所できる環境が整ってくると申し分のない施設に発展していくと思います。これからの躍進をお祈り申し上げます。

夢来夢来さんとの

交流を通して心豊かに

狭山台南小学校校長 山本 武夫

本校の学校沿革史によると、平成八年六月二十八日福祉施設「工房・夢来夢来」開所という記述がみられる。丁度、九代目齋藤喜一校長先生の時である。本校に開所することになった経緯等についてはわからないが、昭和五十六、五十七年度には千八百名を越す、埼玉県下有数の大規模校が御狩場小の分離開校や児童数の減少により五百三十名にまで減ったことによる転用可能教室の有効利用の一つかと思われる。以来、本日まで、本校児童は夢来夢来さんとの交流を継続的に実施し、貴重な体験を重ねてきた。

平成十二年からは総合的な学習の時間『台南ムーブ』が始まり、夢来夢来さんとの交流学習も本格的にスタートした。平成十三年十一月二十八日には、六年生が五年の時の学習の発展として行ったアルミ缶集めによって得た収益金で車椅子を購入して贈呈

式を行ったという記録が残っている。この時の六年生は今は狭山台中の三年生になっているが、五年の時の夢来夢来さんとの交流体験を書いた人権作文が県の特別賞に輝いた旨、中学校長より報告を受けた。多くの子供の心に、夢来夢来さんとの様々な交流体験が深く残っているのである。

総合の単元としては、四年生の一学期に単元を配当している。ねらいは「夢来夢来の方々との交流を通して、障害を持つ人々の考えや生活を理解し、相手の立場に立った行動がとれるようにする」となっている。この時の学習で、四年の児童は次のような作文を残している。

夢来夢来さん

四年一組 小久保瑠璃

今日は、夢来夢来さんの事を調べたことを、グループ毎に発表です。とっても緊張しています。通学班で並んでいても、心臓がドキドキしてました。学校について、いつものように、朝マラソンをしました。すると、知らないうちにドキドキが止まっていたのでびっくりしました。

教室に入って読書をしました。私が、かまい君に「緊張してる。」と聞いたら、「すごく緊張してる。」と、答えたので、へえ～同じなんだと思いました。

いよいよ発表会が始まりました。「ブローチグループさん、お願いします。」と、言われたので、大きな声で返事をして、ゆっくり、自分たちでかいた紙芝居を読みました。また、ドキドキしてきました。隣の小岩さんもドキドキしているのがわかりました。

発表が終わると、はぁ～という気持ちになり最後の礼を忘れてしまいました。

この学習で、障害を持っている人も、不自由ではあるけれど私たち以上に精一杯がんばっていることがよくわかりました。

五年生は、二学期に、ねらい「障害者や高齢者などの生活環境を調べる活動を通して、人権意識を高め、共に生きるよりよい地域にしていこうとする心をそだてる」として実施している。育心学級（本校特学）の児童も、ときどき交流をもって、心温まるいい体験を重ねている。

このような交流体験ができるのは、校内に『夢来夢来』さんがあるからこそできることと思います。運動会や卒業式などの行事にも積極的に参加していただいています。身近でふれあうこの体験によって児童の心がより豊かになるものと信じています。

狭山台南小学校児童との交流



作文紹介

平成 15 年度さいたま地方法務局と埼玉県人権擁護委員連合会
主催の中学生人権作文集で最優秀賞(中央大会奨励賞)に選ばれた狭
山市立狭山台中学校 3 年生室岡郁美さん(当時 2 年生)の作文
をご紹介します。



狭山台南小学校で行われた車いす贈呈式

車イスになり足になったアルミ缶

狭山市立狭山台中学校

二年 室岡 郁美

私が通っていた小学校には、「夢来夢来」という障害を持った人のための施設がありました。そこには目の見えない人や体の左半分が全く動かないなど、様々な障害を持った人がいました。私とその「夢来夢来」という施設の存在を知ったのは小学校三年生ぐらいの時でした。その時はまだ「障害」というものをあまりよく理解していなかったし、他の人の事を思いやれるほどわたしは大人ではなかったので、全くと言っていいほど興味を持っていませんでした。

そんな私が真剣に「夢来夢来」や「障害」について考えるようになったのは、五年生の総合の授業がきっかけでした。その授業の中で私はたくさんの障害者の人達と出会い、言葉では表しきれないほどたくさんの大切な事を学びました。それまでの私は町で車イスの人を見かけたら、その人の気持ちも考えずにじろじろと見てしまったり、もしその人が何かに困っていたとしても何もしてあげることができなかつたと思います。だけど障害者の方達と出会いふれ合う中で、そんな私の考え方が大きく変わってきました。

私が授業の中で出会ってきた人というのは、ビデオでそのがんばっている人の姿を一方的に見ただけだったけど、私にとってはとても大きな出会いだったと思います。他にも実際にお会いした方にたくさんのお話を聞くこともできて、他の授業では決して学ぶ事のできないような事を総合の授業でたくさん学ぶ事ができました。

その私が出会ってきた人は、本当にどの方も明るく元気で障害を持っているという事を忘れてしまうほどでした。でも、そんな人達も自分の障害を受け入れるにはとても時間がかかって、死んでしまいたいと思ったことも何度かあったと言っていました。

今、全世界でそのような同じ悩みで悩んでいる人が何人といえるだろう。思いきり走りたくても走る事の出来ない人のために、走れる私だからこそできることはなんだろう、と考えた時に私は「ボランティア」という言葉にとっても興味を持ちました。

そこで始まったのがアルミ缶集めでした。アルミ缶を集めて業者に買い取ってもらい、そのお金で車イスを買って「夢来夢来」へプレゼントしようという活動でした。この活動を始めるきっかけとなったのは、どこかの自動販売機の所にこの活動と似たような内容の書いてあるポスターがあったという話を聞き、私と同じようにボランティアに興味を持った数人の友達で私達もやってみようという事で始まり

ました。

初めは私達だけで町におちている缶を拾ったりしていましたが、それだけではなかなか集まらないのでクラスのみんなに呼びかけて家にある空き缶を回収したり、ポスターや放送で学校全体に呼びかけをしたらどんどん集まってきて、いつの間にか地域にも広がり大勢の方が協力してくれるようになりました。

しかし、車イスを買ってプレゼントするというのは思っていたよりも大変な量のアルミ缶が必要で、あきらめそうになった事もありましたが、担任の先生やたくさんの人達の協力のおかげで私達は一年以上この活動を続けて、念願であった車イスをプレゼントする事ができました。その時のうれしさは今でも忘れる事ができません。数人で始めたこの活動を通して、私は協力してくれた大勢の人のあたたかさを感じることができました。そして、それは車イスを使ってくれている障害者の方にもちゃんと伝わったと思います。

しかし、今の世界は障害を持った人達にとって、とてもじゃないけど住みやすい環境とは言えないと思います。少しでも住みやすくするために、駅などたくさんの方に点字ブロックがあったり、車イスの人でも乗れるようにバスなどが工夫されたりしてきてはいるけど、その点字ブロックの上に平気で自転車をとめたり、車イスに乗っているからとバスに乗るだけでじろじろと差別の目で見えてくるような心ない人達のせいで障害を持った人達が傷つくのはおかしいと思います。私達に障害を持った人達の人権をうばう権利はないと思います。

私はこの体験を通して、今まで見えなかった自分の将来が少しずつだけ見えてきた気がします。私は障害を持った人達にたくさんの勇気や大切なものをもらいました。なので今度は私が障害を持って困っている人達に勇気を分けてあげる番だと思っています。

そのためにも、もっと一人ひとりが障害というものをよく理解し、思いやりの心をもっと大切にしていきたいと思います。そして、いつか障害を持った人が障害を障害と感じないくらい住みやすい世界、障害者に対する差別のない世界になってほしいです。

そして、いつまでもあの車イスが誰かの足となって輝き続ける事を願っています。

開所十周年に寄せて

夢来夢来通所者の皆さん



工房夢来夢来十周年を祝して

星野 トリ子

巡り会ひし幸ここに秋を祝^はぐ
四方よりの力はひとつ豊^{とよ}の秋
年輪に人の和重ね菊かほる
継続の力量しかと秋みのり
夢来夢来の余光いつまで秋の天

「夢来夢来の誕生」

田内 かつえ

光陰矢のごとし早いものですね多くのみなさんのご努力で今日に至りました事心より御礼申し上げます。

産みの苦しみの中で開設した工房が十年を経過したこと、大変感慨深いものがあります。工房夢来夢来の事業を企画実行(平成七年開設～十一年まで代表を務める)したいきさつを書くようにとのことで当時のことを懐かしく思い出しながら書かせて戴きました。

当時私は狭山市障害者団体連絡会(狭障連)の代表世話人として狭山市内の公民館全館と狭山台体育館やサピオ稲荷山の施設に狭障連として、自動販売機設置のお願いに奔走しておりました。その結果合計十一台の自販機が設置され狭障連の財源が確保されたのです。純利益は狭障連に加盟する団体へ補助金として配布しその他狭障連の事業等(障害者のダンスパーティーや障害者専用プールの日)に活用していました。当時の狭障連役員の中から障害者の社会参画できる事業をとの意見がでました。その一つが福祉の店アミー(市役所内ロビー)の開店です。在宅の障害者や各団体の作品を販売することを目的に設置されました。

そんな折り柏原の作業所跡地を取り壊す話が耳に入りました。突然の事で取りあえず在宅の障害者の溜まり場としてお借りしたいと申し入れました。タイミングの問題等取り壊される寸前のバタバタとした時期でした。

「障害者はいつも要求ばかりしている」という言葉を返上するチャンスをいただけたのだと受け止めました。

当時障害者が経営するなど無謀な計画だと思われていました。

工房設立から今日まで存続できたのは多くのみなさんのお力添えをいただけたからに他なりません。心から感謝しております。団体の方々や狭障連の役員のみなさん関わってくださった多くのボランティアさん、更に施設整備等狭山市の強力なバックアップにより「こんな場所があって良かったね」と言われる溜まり場づくりが成就いたしました。

振り返って十年の間の大きな出来事は工房の移転でした。移転場所には大変苦勞しました。当時はまだ学校開放には消極的な時代でした。当時の町田市長のご助力もあり、奔走してようやく狭山台南小学校の空き教室三教室を借用することができました。

移転費用は無償でボランティアのみなさんのご好意によって社協の大きな車を借りての引越しでした。車椅子用トイレやスロープの設置、厨房設備等狭山市の強力な支援があり大変助かりました。

その後狭障連から独立せよとの通達を受け、工房の運営委員の一員として苦慮の末、市より補助金を受ける事が出来ました。年間五十万円の補助金を戴き延べ千人余の障害者の受け入をしている工房の事業は費用対効果をかんがえるとき最小の予算で最大の効果をあげている特筆すべき事業だと思います。

「障害者の障害者による障害者の為の場所づくり」の基本理念を貫きながらボランティアのみなさんと共に居心地のよい場所づくりを目指して役員一同努力しております。心優しい皆さんとの育ち合いをこれからも続けて行きたいと思います。今後ともご支援ご協力を切にお願い申し上げます。

楽しい環境の中で

阿部 陽子

「後片付けとかお掃除を手伝ってくださいますか」と社協より声がかかり、そんな事で良いのなら、と気楽に返事をして夢来夢来に通い始めて七年程になります。週に一度、金曜日に牛乳パックのイス作りにかかわっています。初めの頃は手縫いでやっていましたが、今はミシンで手早く仕上がっています。

みなさんとのおしゃべりが楽しくて、つつい手の方がおろそかになってしまって、なかなかはかどらない有様。

それと、小学校での一日は、子育ての終わった私にとっても新鮮な感動を味わわせてくれます。校庭で繰り広げられる子供達の喜々とした歓声と躍動に沢山の元気をもらっています。

障害をもっている方々がしっかりやっぺいらっしやるのに、私はなんてなまけ者なのだろうと反省する一日でもあります。



夢来夢来との出逢い

荒井 昭子

今から十年前、福祉ボランティアをしてはどうかと進められたのが市民美術協会の亡き、^{あたらし}新会長でした。

社協で紹介されたのが工房夢来夢来でした。その頃は柏原の(はばたき)でした。柏原の思い出は笹井の白髭神社近くの畑で障害者とボランティアと一緒に野菜作りの体験をしました。じゃが芋とさつま芋を収穫しないうちに狭山台南小学校に引っ越して来ました。

夢来夢来も少しずつ人数が増えて来ました。いろいろと仕事ができる様になり、自分の趣味の文化刺繍を障害者の手のリハビリと思い刺繍を始めました。最初は心配でしたが、一針一針刺すうちに一つの作品が出来上がる様になり、今年で出品六回目になりました。

秋の美術展が楽しみです。刺繍を指導していて良かったと思っています。

機織り作業

狭山市赤十字奉仕団 石渡 ヤス子

開設十周年おめでとうございます。

私達は狭山市赤十字奉仕団の団員として、月二回三人交替で活動させて頂いています。多分開設当初からのお付き合いだと思います。

活動内容は視覚障害者の方の機織り作業の下準備として布を五ミリに切っていますが、けっこう大変な作業です。それを視覚障害者の方が指先の感覚だけで色違いに一生懸命織り上げていく姿に深い感銘を受けました。さらに織り上がった布は本当に素晴らしいものです。障害者の方とボランティアの方がアイディアを持ち寄って作品を作り上げていく光景は実に明るく楽しそうです。私は、奉仕作業を通じて障害者の方に対しての考え方が変わってきました。障害者の方が何事にも前向きに取り組む姿に私は勇気をもらいました。おりこうな盲導犬カレンに出会うことも出来ました。

窓の外からは、校庭で遊ぶ元気な子供達の声、授業開始終了のチャイム、校内放送、お昼時には給食のにおい・・・過ぎし昔を思い出しながら作業をしています。

今、家の中にいる在宅障害者の方達も工房夢来夢来に通ってみませんか。一人でも多くの方達がこの様なすばらしい環境の中でのふれあいを通して社会復帰できます事を願っております。私はそのお手伝いを、これからも続けていきたいと思っております。

夢来夢来十周年に寄せて

岡田 信子

四年前、失明してから半年ぐらいたって、彩の道(ガイドヘルプ)の交流会で夢来夢来会員の今は亡き藤重さんに出会いました。

「なんでもいいからとにかく夢来夢来へ来てみなさい」と誘われました。私もその頃は目も心も暗闇の中でもがいていましたので、行ってみることにしました。

最初は人にも慣れず、一日がとても長く感じました。機織りの部屋には視覚障害者も三人おりましたが、みんな生き生きとしてみえました。あんな生き方もあるんだと思ったら気持ちが楽になるのを感じました。それからは雨の日も風の日も夢来夢来が開所していれば来ています。多くのボランティアさんのお力をかりて、楽しく「カッチャン、トントン」と織機の音をさせて楽しんでおります。

私の一週間は、この水曜日を中心にまわっています。こんな心のオアシスがいつまでも続くことを願っております。

誘われて、夢来夢来へ

小沢 桂子

今日は！

私は夢来夢来に通所している方に誘われて見学にやってきたところ、私のような気ままな者でも通えそうなので、七月から通うようになりました。

子育てが終わって、一息ついて、編み物でも習いたいなあと思っていましたが、手が不自由になってしまってなかなか習うチャンスがなかったのです。

夢来夢来にやってきて、「編み物をしてみたい」という長年の念願がかないました。

雨が降ると外歩きが難しいので、毎日晴れてるといいなあと思っています。

これからもよろしくお願いします。

私の生きがい

小野 孝子

狭山台南小学校内にある、工房夢来夢来は今から十年前、多くの方々のお骨折りのもとに開設されたとのこと、そこに私は四年前から知人の紹介でお世話になっております。

三教室から見える広い校庭には元気な子供達の姿が、そして校内放送では子供達のお話や音楽が流れ現代っ子の様子を感じながらの環境の中で、月曜日はパソコン、水曜日は機織りと洋裁、金曜日は刺繍、スツール、種々な手芸品作りに経験と技術と発想を素に各曜日毎に素晴らしい作品が出来上がり、私は感動と新しい発見に日々充実した時間を過ごしております。

特にボランティアさんには温かい心でお手伝いして下さることに感謝しております。

もし、私が夢来夢来にご縁がなかったら今頃は病後、失った機能を悲観し暗い日々を過ごしていたことでしょう。皆さんの笑い声が絶えないそんな明るい夢来夢来にご縁があったことを幸せに思っております。高齢な私ですが元気に通所できるかぎりお世話になりたいと思っております。これからもよろしくお願い致します。

笑顔のたまり場

菊田 順子

夢来夢来が十周年を迎える事はボランティアの一人として、本当に嬉しく思います。立ち上げに尽力された方々や運営にたずさわっている皆様に心から感謝致します。

私も、五年前に友人の紹介で入りました。なんて素敵なネーミング(夢が来る)なんでしょうと新鮮な驚きと、皆様の笑顔が印象的でした。

今、微力ながら、お手伝いさせていただき、月、水と、楽しみながら通っております。これからも皆様と一緒に安らぎの場として、益々笑顔のたまり場として発展して行くことを期待します。

障害者の方とともに

琴野 陽子

私は、夢来夢来にボランティアとして参加をさせていただいて、まだ一年未満です。

障害者の方が織ったとは思えないすばらしい作品の出来上がりに、毎回感心をしております。

私も早く皆さんに近づけるよう努力をしていきたいと思います。



ボランティアも共に前進

佐藤 芳子

「おはようございます」で始まる夢来夢来・月曜日の朝が大好きです。パソコンボランティアとして五年近くになりますが、最初は肩に力が入って「何かお役に立たなくては・・・」とのあせりの気持ちが強く 「どのように皆さんと交流してよいのか？」戸惑いがちな日々でした。

でも、今はパソコンを通してリラックスして気楽な会話が楽しめるようになり、頑張っている皆さんからパワーをもらっています。趣味のパソコンが取り持ってくれた貴重な時間を大切にして、あせらずに皆さんと共に前進したいと思っているこのごろです。



充実した日々を

城下 登志子

夢来夢来に通所するようになって五年余りになります。

手仕事が好きなので自分に出来ることがひとつひとつ増えて、充実した日々を過ごしています。

わきあいあい
和気藹々の雰囲気の中で楽しい一日です。

「夢来夢来と出合って…」

鈴木 由美子

私は「夢来夢来」に来てから、三年目になりました。

最初、社協に行って手芸をしていました。二年ぐらいたってから少しずつ悩んでいる時に「夢来夢来」のことを聞いて、私でも出来るかな？と思って、見学にきました。

縫い物とか文化刺繍、パソコンなど私の好きなものがいっぱいあったので、私もぜひやりたいと思って通いました。

最初は、パソコンもうまく出来なかったけれどだんだんと慣れてきました。やってみると、とてもおもしろくなりました。ここでは、私のやりたいことを何でも出来て楽しい。これからも頑張って夢来夢来でもっといろんなことも学んでいきたい、そして素敵な作品も作りたいと思っています。

母の思い出と共に

高田 サ子エ

編み物が大好きだった母を、夢来夢来へ誘ったのは、大正解でした。

母は、自分が編んだ作品を皆に褒めてもらえるし、しかもそれが夢来夢来の売り上げに貢献できることをとても喜んで、せっせと家に帰っても編み続けていました。

母の晩年を支えてくれた夢来夢来は、母の思い出と共に、今は私の安らぎの場所になっています。

十周年記念お目出度うご座居ます

高橋 三郎

平成八年十一月工房夢来夢来に伺い、ビデオ取材の事で田内代表に相談したところ、お琴の練習をされている由、早速カメラを取りに帰り撮影を開始して、十七日市民会館で「エーデルワイス」を演奏されたが、これがお付き合いの始まりです。

これを編集して、十二月三十一日テレビ埼玉で放映、それ以来夢来夢来の行事をビデオの作品にして、テレビ埼玉他狭山ケーブルテレビで放映されています。

十年三月にはテレビ東京が私のテープを利用して五月九日に全国放送もされました。それを見て摂津市より視察に来られたのは皆様ご存じとおもいます。

本来私の仕事は織物ですが始めたのは九年よりです。

私の目的はボランティアの方に、織る事よりも準備の仕事を覚えていただく事ですが細かい仕事で難しいかも知れませんが、余生少ない私ですから今のボランティアさんに頑張ってもらって勉強される事を念願しています。

工房夢来夢来を創設された皆様のご苦勞を大切に、益々発展される事を切望します。

文化刺繍をお手伝いで

富田 悦子

文化刺繍の荒井先生に刺繍されている方の糸切りだけでいいから手伝ってほしいと言われ、ハサミで糸を切るだけなら私でも手伝えるかなと思い、通わせていただきまして一年三ヶ月になります。

毎週金曜日障害の方が針を持ち、一針一針刺していかれます。

体の不自由、体の痛み等障害をかかえてどれだけの努力を要するものか計り兼ねますが、作品を製作されていかれます。

横山さん、三橋さん男性お二人がお体の具合が悪くなりお休みされてます。元気になられ又夢来夢来へこられます事を祈ってます。

今後とも皆様方から元気をいただきそして夢来夢来がより一層活動されます事を期待いたします。

還暦と喜寿と米寿

鳥海 理一

還暦の数年前頃から視覚障害が大分出てきたので、老後のことを真剣に考えるようになった。私が満五十歳のときに妻をガンで亡くしたこともあり、健康や医療に深い関心を持つようになっていたので、退職後東洋医学系の学校を受験し、還暦の年に卒業することができた。

国家試験も無事通り都内の病院で一年間インターンをしてから治療院を開業した。そして十数年間治療院の仕事で充実した毎日を送ることができた。

視覚障害はさらに進み、七十歳代も半ばになったので、昨年治療院を閉院して今年の夏から夢来夢来でパソコンを教えていただいている。

多くの方々の本当にありがたいお心のお陰で毎週ここへ通って勉強することができ感謝の毎日である。

来年喜寿を迎えるまでに何とかパソコンができるようになるのが今の私の夢である。そしてこの先もしも健康に米寿を迎えることができるならば、その年月は私にできる力で社会のために働くように与えられる時間である。米寿まで健康に精いっぱい生きてこの夢を何とか実現したい。

つぶやき

中田 亜由美

私は、北海道から狭山市に引越しをしてきた時、「普通の職場は大変、だからと言って今更、施設に入るのはもったいない。自分に合う仕事がある所がないかな！」と居場所を探していた所、夢来夢来が柏原で始まると聞き、早速通い始めました。翌年、狭山台南小学校に移った事は、狭山台に住んでいる私にはラッキーでした。かわらばんを書き始めたのも「家に閉じこもっている障害者が夢来夢来で何かできる事を見つけてくれればいいな！」と思ったからです。

私が、北海道でいた施設は、マニュアル通りの決められた事しかできませんでした。それに比べて夢来夢来は自分のやりたい作業を自分で選んで活動出来る事と、障害者が運営している事がすばらしいと思います。

私は、パソコンの作業をしています。作業内容は、機関誌かわらばんや議事録の入力、レターセットやはがき名刺などを作っています。パソコンを通して、障害者同士、教えあえるすばらしさが、うれしいです。

狭山台南小学校で育心学級や総合的学習で生徒達の素直な発言にはっとさせられることもたびたびです。

夢来夢来の仲間とともにこれからも頑張ります。

盲導犬カレンとともに

福井 恵子・カレン

「私も機織りにチャレンジしてみたい！」と思って夢来夢来を訪れたのは、二〇〇〇年十月十五日のことでした。縦糸の仕組みや横糸の操作方法等のご指導を頂き、始めて織り上がった物がテーブルセンターとポシェットに変身した時のうれしさは忘れられません。マフラーやのれん・コースター・ポンチョ等、世界に一つだけの手織りの作品が完成するたびに、喜びも一入です。織り上がった五メートルの反物を手にする瞬間は、毎回感動的です。

二年前からは盲導犬のカレンと共に通所していますが、夢来夢来の皆さんは盲導犬への対応を心得ていて、優しく見守って下さるので、カレンも夢来夢来のお仲間の一員として、すっかり打ち解けているようです。

これからも二人五脚で頑張りたいと思いますのでお力添えの程、よろしく願いいたします。



夢来夢来十周年おめでとうございます

福島 ふさ子

私は、この五月から夢来夢来に入所させていただき、毎週水曜日機織りに挑戦しています。

早く機織りになれ皆さんと同じように製品化にこぎつけられればと思っております。この夢来夢来にしていることを友達に話をすると(狭山はイイネ！私も機織りがしてみたい、他の県の方はダメなのよネ)うらやましがられております。

私が思う夢来夢来の良い所は、ボランティアさんの力をかりながら出来た製品を販売している所と、小学校の空き室を利用している事により障害者と触れ合ったり交流したりして、自然に児童の皆さんに思いやりが身についていくことと思います。

そして、狭山台南小学校の卒業生の女子生徒さんが、車椅子使用者の事を綴った作文が見事、埼玉県作文コンクールで最優秀賞に選ばれた事です。私も校内放送が流れてくると自分の小学生時代を思い出します。

そんな環境で機織りができる夢来夢来に通うことが楽しみです。最後に関係者の皆様、ボランティアの皆様、そして教職員、児童の皆様、夢来夢来が二十年、三十年と続きますよう温かいお力をよろしく願いします。

昼食が楽しみです

福島 みさ子

この度は、夢来夢来開所十周年おめでとうございます。

私は、週一回夢来夢来に通所しています。夢来夢来では盲人用パソコンをボランティアさんと、障害者の人から親切に教えていただき、今では何とか文章が打てるようになりました。

また、ボランティアさんの手づくりの昼食は、とてもおいしくて毎回楽しみにしております。

このようにやさしいボランティアさんのおかげで夢来夢来が十周年を迎えられたことと思います。

これからも末永くよろしくお願い致します。

夢来夢来に集って

増島 喜代美

開所十周年を迎えられおめでとうございます。

十年間継続すると言う事は沢山の努力とご苦勞があったのだと思います。私にとって「夢来夢来」は元気の素であり、明日へのエネルギーを与えてくれる所です。みなさんとおしゃべりをしながら作業をして過ごす時間は自分の背負っている全てを忘れ一個人の私に戻れる至福の時です。明日もまた頑張ろうという元気を貰って帰ります。

これからも「夢来夢来」がずーっと存続するように私なりにお手伝いをさせて戴きたいとおもいます。



むくむくがだいすきです

松本 清子

むくむくにきて
いろいろおぼえてきました
あみもので かぼんとたわしをあみしました
ぎゅーにゅーパックでつくった かんいあみものきで
えりまきをあみしました
ぼうばりがもてるように
なりました
ざぶとんをおかあさんにプレゼントを
しました
ここにきて ともだちができました
それから ふくいさんとかれんちゃんに
あいしました
だいぶなれました
かれんちゃんともだちになりました
むくむくはたのしいです
これからもずっときたいです
みなさん これからもよろしく
おねがいします

夢来夢来との出会い

三浦 京子

子育ても一段落したある日、社会福祉協議会のボランティアグループ「水の輪」に所属する事になりました。グループを通じて様々なボランティア活動をさせていただいておりました。そんな中の一箇所が「工房夢来夢来」でした。関われば関わるほど夢来夢来はほかの施設とは違った独特の雰囲気がありました。通所している障害者のみなさんが、運営に参加している意気込みを感じて大変好感が持てました。それぞれに自分に出来ること探しをしながら関わっていました。

ここに私の居場所がある様なそんな楽しみな期待感がありました。洋裁など細々とした作業のお手伝いをさせて戴きながら、仲間づくりにと毎日を過ごしております。

今後もたくさんの方々との出会いを楽しみながらゆったりとした時間を障害者のみなさんと共有してゆきたいと思います。

夢来夢来の発展の為に私に出来るお手伝いをこれからも末永く続けていこうと思います。

夢来夢来との関わりについて

森川 敏夫

定年後脳梗塞になり、左半身不随で毎日家に閉じこもっていても仕方がないので、リハビリのため、狭山ケアセンターに毎週水、土、お世話になっていたところ、そこで知り合った横山さんが毎週月曜日、夢来夢来という所でパソコンを習っていると聴き、私も前から覚えたいと思っていたので、通所できることとなったのが今から四年前でした。

場所が狭山台南小学校なので家から近いし、天気の悪い日、無理して通所しなくてもよくて比較的自由なこと、教えてくれる先生やボランティアの方々が大変親切なので機械音痴の私でも、今日まで続けることが出来ました。



楽しみな夢来夢来

諸口 玉枝

夢来夢来十周年おめでとうございます。

夢来夢来にお世話になって、七年になります。

私は、五年前に病気で、約一年の入院生活を送りました。病気をなおすために入院したとはいえ、患者さん同士の交流の難しさを経験したりして、もう一回、夢来夢来の皆さんと共に過ごしたいと願い、それがかなったときの喜びはひとしおでした。

今のように一人で歩けることに比べたら、リハビリの辛さも忘れられるし、後遺症の手のしびれも、我慢できます。

夜、眠るとき、目をつぶって大変なときの姿を思い出すと今の健康がありがたく、いとおしく思います。

病院の先生は一生懸命に手を尽くして手術を成功させて下さいましたが、手術後は、自分とのたたかひの日々でした。

昨年母が亡くなったのですが、私がいくらかよくなった姿を見せてからだだったので、それが親孝行だったかなと思っています。子供の頃から親には苦勞をかけてきました。母は厳しく育ててくれたので、それが私にはよかったのだな、と今は思っています。

亡くなって一年たってみると、生きているうちに母に「ありがとう」と言えばよかったなと思うこの頃です。

これからも夢来夢来の皆さんに迷惑をかけるけれども、夢来夢来に通うことを楽しみにしていますのでよろしくお願いします。

夢来夢来にきて

山口 由紀子

「おはようございます。」と何年かぶりに気持ちよく言えた。

平成二年一月に病気に倒れて自分自身の気持ちがなくなってしまう、毎日がリハビリの生活(歩く事)ばかりで他の事は考えられずに昔の自分をなくしておりました。

以前から堀さんより「夢来夢来」のお誘いがありましたが、なかなかふりきれずにいました。

平成九年の六月に高田さんから主人にお話がありまして「行ってみてはどうか」と言われ、こんな私でも出きる事があれば行って見ようと思いました。そうしてお仲間に入れて頂きました。

今、私は「織物」をやらせて頂き頑張っています。

生きることへの熱き思いにふれて

派遣職員 塩田 光子

十周年おめでとうございます。

四季を彩るケヤキのトンネルをくぐって出勤すること、五年になります。

夢来夢来に通って来られるおひとりおひとりの心の中深く、静かに流れている生きることへの熱き思いにふれることは、私にとって望外の喜びです。私は夢来夢来で働けることに感謝しております。

希望と勇気の源である夢来夢来の皆様の健康と、益々の発展を祈念致します。



工房夢来夢来

開所十周年

おめでとうございます

岩崎 佳子	岩野 益子	上田 寛
金井 澄子	川村 笑子	川村 道夫
工藤 美智子	國重 弘子	五木田 滝子
後藤 富久	佐々木 實	塩田 公子
鈴木 和子	春原 みさ子	関 興一
田淵 玲子	中島 みち子	中村 愛子
中村 友樹	野口 弘光	林 しず代
平田 和子	平塚 昭一	細田 つる
三橋 昭夫	明神 知加子	横山 小夜子
横山 誠司		

主な活動報告

定例開所日

毎週月曜日、水曜日、金曜日

午前10時から午後3時まで



平成7年度(1995)主な活動

月	日	曜	項 目	月	日	曜	項 目
9	1	金	開所日	12	1	金	運営委員会
	6	水	公園緑地事務所に草木染の見学		4	月	大掃除 (28名)
	11	月	市議会議員 2名、青い実学園園長、障害者福祉課職員来所		10	水	かわらばん2号発行
	14	木	市より4名、社協より2名見学		13	水	喫茶夢来夢来オープン 来客33名
	15	金	ユニークダンスの練習		14	木	来客7名
	22	金	狭山保健所より2名見学		15	金	来客25名
	25	月	中川市会議員と話し合う		18	月	かしわ苑より編み物協力 社協、市会議員見学
	27	水	石川部長見学 染色(ショール)ケーブルTV取材		20	水	みのり作業所8名見学
10	6	金	運営会議	1	12	金	運営委員会
	12	木	かわらばん第1号発行		17	水	「矢野先生を囲んで」 北海道札幌肢体不自由児 訓練センター教師、来所
	18	水	大掃除(25名)		22	月	かしわ苑7名来店 染物講習はじまる
	25	水	社協2名、日高養護学校1名見学	2	1	木	織物、ケーブルTV取材
11	1	水	障害者福祉課1名、車いすと仲間の会より見学 運営会議		5	月	運営委員会 障害者福祉課1名見学 社協コーディネーター2名見学
	6	月	日高養護学校教師2名見学 運営委員会		7	水	かわらばん3号発行
	10	金	社協2名、他3名見学	3	1	金	運営委員会
	16	木	社協1名見学		18	月	田島園長先生お別れ会
	22	水	染色講習会		25	月	畑作業
	29	水	日高養護学校5名見学		27	水	日高養護学校2名見学

平成8年度(1996)主な活動

月	日	曜	項 目	月	日	曜	項 目	
4	8	月	お花見、笹井白髭神社	10	4	金	埼玉障害者ネットワーク	
	12	金	保健センター1名見学					巡礼団12名来所
	15	月	藍の種まき		4	金	日高養護学校生2名3日	間実習
17	水	かわらばん4号発行	4		金	入間市高等看護学校生3	名ボランティア体験	
5	8	水	柏原から台南小に移転		11	金	農園開所式(13名参加)	
	20	月	畑作業、芋苗植え		18	金	運営委員会	
	22	水	草木染め(福社会館)		18	金	入間教育事務所長見学	
6	27	月	赤十字奉仕団6名見学		20	日	ホンダむさしの会祭り出	店参加
	11	火	大掃除(22名)		23	水	みちくさバザー準備会	
	17	月	市議会、文教厚生委員会 教育長、市庶務課長、 台南小校長 他 見学		28	月	日高養護学校生実習2名	
	28	金	ディケア施設として開所 式。市長、市議会議長、 教育長、生涯学習部長、 台南小校長、日高養護学 校長、狭山養護学校長、 狭障連各グループ代表、 社協事務局長、他、工房 関係者	30	水	入間看護専門学校生3名 見学		
7	4	木	かわらばん5号発行	31	木	かわらばん6号発行		
	12	金	運営委員会	11	9	土	みちくさバザー出店参加	
	19	金	教育委員会より見学	15	金	運営委員会		
	8	3	金	ホンダ夏祭り出店参加	17	日	三曲連盟演奏会参加	
8	28	水	福祉の市に出店参加	29	金	石川部長と面談		
	30	金	狭山清陵高校見学2名	12	13	金	保健センター1名見学	
	9	9	月	大生病院介護支援センタ ーより見学2名	18	水	入間看護専門学校生見学	
9	13	金	運営委員会	20	金	大掃除(35名)		
	30	月	日高養護学校見学3名	1	13	月	町田市長新年昼食会来所	
				17	金	運営委員会		
				2	13	木	かわらばん7号発行	
				17	月	運営委員会		
				19	水	ふれあいトーク		
							市長、市広報課3名	
				3	3	水	運営委員会	

平成9年度(1997)主な活動

月	日	曜	項 目	月	日	曜	項 目
4	15	火	藍の種まき	3	4	水	水富公民館福祉スクール
	18	金	運営委員会				見学 15名
	21	月	お花見、秩父ミュージックパーク、あじさい館(23名)		11	水	運営委員会
5	14	水	見学2名				
	18	日	ふれあい広場出店参加				
	23	金	見学1名				
	26	月	市職員見学1名				
6	5	木	かわらばん8号発行				
	8	日	きものの心、装いの祭典に参加(15名)				
	13	金	運営委員会				
7	11	金	大掃除(35名)				
	18	金	県リハビリセンター職員、市職員各1名見学				
8	3	日	ホンダ夏祭り出店参加(10名)				
9	12	金	運営委員会				
10	8	水	運営委員会				
	26	日	奥富かかし祭り参加(9名)				
11	9	日	交流バスハイク、群馬フラワーパーク(22名)				
	14	金	運営委員会				
	19	水	狭山工業高校音楽鑑賞会(12名)				
12	17	水	大掃除(28名)				
1	14	水	運営委員会				
2	18	水	運営委員会				
3	2	月	ひなまつり会				

平成10年度(1998)主な活動

月	日	曜	項 目	月	日	曜	項 目	
4	15	水	運営委員会	9	7	月	台南小育心学級と交流	
	22	水	TV12 チャンネル取材		11	金	運営委員会	
5	8	金	運営委員会		14	月	ホンダ技研社員 12月7日 まで毎月曜、パソコン指 導に来所	
	15	金	ケアセンターかがやきよ り見学2名					
	20	水	川越くぬぎの会見学2名	10	9	金	運営委員会	
6	9	火	かわらばん 11号発行		21	水	川越心身障害者地域療育 コーディネーター見学	
	10	水	大阪府摂津市教育委員会 教育長、委員長、部長 他5名見学		11	1	日	奥富かかし祭り参加
	12	金	運営委員会		8	月	歩け歩け大会(昭和記念 公園)参加	
	22	月	ホンダ労組狭山支部より パソコン贈呈式 市長、市広報課、ホンダ、 夢来夢来曜日代表		13	金	運営委員会	
	26	金	台南小1年生と交流会		14	土	みちくさバザー出店参加	
	29	金	台南小育心学級と交流		16	月	かわらばん 12号発行	
7	10	金	大掃除(21名)	12	9	水	空調機電気代の件、市に 要望書提出	
	17	金	台南小3年見学 ふれあい農園総会		16	水	台南小5年と交流会	
	28	火	空調設備工事打ち合わせ		18	金	大掃除(34名)	
	29	水	藍染め教室 (台南小5年8名参加)		1	22	金	運営委員会
	31	金	パソコンによる名刺作り の練習始まる		2	3	水	前田病院在宅介護支援セ ンター見学2名、17日2 名、3月1日1名
8	1	土	ホンダ夏祭り出店参加		10	火	練馬区立心身障害者福祉 センター14名見学	
	17	火	ASAHI ネット加入		3	8	月	保健センター指導員 1名見学
	26	水	フレッシュ商店街夏祭り 出店参加		10	水	ボランティアグループ きらく会見学	
9	4	金	教材会社社員3名見学		12	金	運営委員会	

平成11年度(1999)主な活動

月	日	曜	項 目	月	日	曜	項 目
4	7	水	花見 稲荷山公園、智光山公園(35名)	10	20	水	市会議員4名見学
	17	土	運営委員会		23	土	社協主催小学生福祉教室協力
	26	月	台南小育心学級と交流		26	火	狭山台北小福祉授業協力
5	7	金	ポケット3名見学	30	土	台南小音楽会(中田出席)	
	16	日	ふれあい広場参加		31	日	歩け歩け大会6名参加
	19	水	運営委員会			社協主催中学生福祉教室協力	
6	28	金	台南小1年見学	11	8	月	第1回スタッフ会議
	30	日	ふれあいスポーツ大会		10	水	運営委員会
	1	火	交流バスハイク(東京ディズニーランド)		台南小育心学級と交流		
7	7	月	県立埼玉大学生実習1名	13	土	みちくさバザー出店参加	
	9	水	運営委員会	15	月	民生委員2名見学	
	11	金	かわらばん13号発行	17	水	狭山工業高校芸術鑑賞会(14名)	
8	12	月	台南小育心学級と交流	12	6	月	第2回スタッフ会議
	14	水	運営委員会		11	土	学童クリスマス会参加
	21	水	ふれあい農園総会出席		15	水	大掃除(36名)
9	26	月	パソコン集中学習(8月中)	1	12	水	台南小育心学級と交流
	31	土	ホンダ夏祭り出店参加		17	月	第3回スタッフ会議
	9	月	アミーの店交流会参加		31	月	かわらばん14号発行
10	18	水	サニープレスより取材	2	2	水	運営委員会
	3	水	運営委員会		7	月	第4回スタッフ会
	13	月	狭障連運営委員会に出席		19	土	第1回学校評議委員会
10	18	土	清陵高校バザー出品	3	6	月	第5回スタッフ会
	13	水	運営委員会		8	水	運営委員会
	15	金	所沢デイケア・トリプルサインより10名見学		10	金	台南小5年見学取材協力
10	16	土	台中バザー出店参加	13	水	台南小5年ビデオ撮影	
	18	月	秩父学園実習生1名				

平成12年度(2000)主な活動

月	日	曜	項 目	月	日	曜	項 目
4	3	月	運営委員会	10	4	水	台南小にて森田真千子さんの講演会(8名参加)
	4	火	花見 稲荷山公園(36名)				
	10	月	狭障連会議出席	23	月		みちくさバザー準備会出席、吉田
	15	土	狭障連総会出席				
	19	水	運営委員会	11	4	土	台南小音楽会(中田)
5	1	月	台南小育心学級と交流	6	月		スタッフ会議
	8	月	スタッフ会議	7	火		狭山工業高校芸術鑑賞会(7名)
	10	水	運営委員会	8	水		かわらばん16号発行
	14	日	ふれあい広場参加(20名)	10	金		台南小4年総合学習発表会(17名)
	28	日	スポーツフェスティバル(17名)	11	土		みちくさバザー(14名)
6	5	月	スタッフ会議	12	4	月	スタッフ会議
	12	月	狭障連総会出席	20	水		大掃除(29名)
	28	水	かわらばん15号発行	1	15	月	スタッフ会議
7	1	土	台南小祭り(中田)	24	水		狭障連、市長と話し合い出席(吉田)
	3	月	スタッフ会議	25	木		福祉教育とボランティア学習研修会(吉田、堀)
	10	月	ショップみちくさ開所式出席 吉田、山川	31	水		入間市社協と打ち合わせ5名来所
	12	水	大掃除(37名)	2	5	月	スタッフ会議
	14	金	台南小育心学級と交流	3	3	土	台南小学校運営委員会(出席 吉田、山川、中田、田中、堀)
	22	土	ホンダ夏祭り参加(13名)	5	月		スタッフ会議
8	2	水	台南小4年総合学習の打ち合わせ	12	月		狭障連運営委員会(吉田、山川、中田)
9	4	月	スタッフ会議	21	水		臨時スタッフ会議
	6	水	藍染め講習会				
	8	金	狭山清陵高校見学 先生2、生徒8名				
	20	水	台南小4年5年総合学習協力、以後9回				
10	2	月	スタッフ会議				

平成 13 年度(2001)主な活動

月	日	曜	項 目	月	日	曜	項 目
4	9	月	スタッフ会議	10	5	土	ふれあい農園会議(山川)
	10	火	花見 智光山公園(44名)		17	水	医療生協さいたま「くらしの学校」見学5名
	14	土	狭障連総会出席				
	20	金	入間市障害福祉部会見学(33名)		22	月	台南小4年総合学習協力以後、7回
	23	月	かわらばん17号発行		31	水	北小総合学習協力15名見学
	27	金	狭障連懇親会出席				
5	7	月	スタッフ会議	11	5	月	スタッフ会議
	12	土	ふれあい広場参加(25名)		9	金	狭山工業高校芸術鑑賞会(15名)
	27	日	スポーツフェスティバル				
6	4	月	スタッフ会議		10	土	みちくさバザー(12名) 台南小音楽会(中田)
	27	水	入間市視覚障害者の会 会長見学		17	土	台中バザー参加
	30	土	台南小まつり参加		28	水	台南小車椅子贈呈式出席
7	2	月	スタッフ会議	12	3	月	スタッフ会議
	6	金	台南小育心学級と交流		5	水	社会科副読本作成取材
	18	水	竹炭巾着810個納品		19	水	大掃除(34名)
	19	木	ふれあい農園総会出席	1	7	月	スタッフ会議
	27	金	大掃除(36名)	2	2	土	台南小もちつき大会
8	6	月	スタッフ会議		4	月	スタッフ会議
	29	水	ホームページ開設 入間川中先生、生徒見学		5	火	ふれあい広場実行委員会以後4回(山川)
9	3	月	スタッフ会議		27	水	町田市長と懇談会 市長、 課長、メンバー34名
	5	水	台南小育心学級と交流				
	19	水	市広報課取材来所	3	2	土	台南小6年生を送る会
	21	金	東中生徒1日ボランティア 体験受け入れ、2名		4	月	スタッフ会議
	22	土	台南小運動会(中田)		13	水	15日 台南小4年交流会
	25	火	かわらばん18号発行		19	火	ふれあい広場準備会出席
10	1	月	スタッフ会議		22	金	台南小卒業式
					29	金	花見 智光山公園(23名)

平成14年度(2002)主な活動

月	日	曜	項 目	月	日	曜	項 目
4	1	月	狭障連運営委員会出席	10	18	金	狭山工業高校芸術鑑賞会
	3	水	スタッフ会議		20	日	サピオ稲荷山 5 周年バザー 一出店参加
	20	土	狭障連総会出席		21	月	みちくさバザー準備会
5	1	水	スタッフ会議		5	火	かわらばん 20 号発行
			台南小育心学級と交流	11	8	金	台南小総合学習発表会
	8	水	かわらばん 19 号発行		9	土	みちくさバザー
	11	土	ふれあい広場参加(18名)		11	月	スタッフ会議
	26	日	スポーツフェスティバル		25	月	ふれあい広場実行委員会 (山川)
6	12	水	スタッフ会議		27	水	台南小 5 年総合学習協力
	17	水	台南小 4 年総合学習協力 以後 4 回	12	1	日	つつじ苑 X マスバザー
	29	土	台南小まつり(中田)		2	月	スタッフ会議
7	3	水	台南小育心学級と交流		13	金	大掃除(36名)
	8	月	スタッフ会議		25	水	臨時スタッフ会議
	12	金	台南小 4 年生の交流会	1	9	木	新年交流会 社協にて (53名)
	17	水	大掃除(32名)		15	水	スタッフ会議
	31	水	夢ふくろう 450 個納品	2	3	月	スタッフ会議
8	5	月	スタッフ会議		14	金	臨時スタッフ会議
9	2	月	スタッフ会議		26	水	狭障連と話し合い
			狭障連会議	3	3	月	スタッフ会議
	11	水	臨時スタッフ会議				狭障連会議出席
	20	金	大樹の家より見学		12	水	ふれあい広場準備会 (平塚)
	21	土	台南小運動会(中田)		25	火	台南小卒業式 (吉田、山川、平塚)
	26	木	狭山市長との会談、市役 所にて(吉田他 5 名)				ふれあい広場実行委員会 (山川)
	28	土	ふれあいスポーツフェス ティバル実委会(吉田)		28	金	花見 智光山公園(34名)
10	7	月	スタッフ会議				
	12	土	SaI の街福祉バザール				

平成 15 年度(2003)主な活動

月	日	曜	項 目	月	日	曜	項 目	
4	2	水	スタッフ会議	10	15	水	みちくさバザー準備会	
	19	土	狭障連総会出席		22	水	台南小総合学習協力 以後 7 回	
	25	金	ふれあい広場実委会出席					
5	7	水	運営委員会	11	5	水	運営委員会	
	10	土	ふれあい広場参加(29 名)		6	木	台中道徳公開授業協力	
	30	金	かわらばん 21 号発行		8	土	みちくさバザー (21 名) バザー反省会 (吉田)	
6	4	水	運営委員会		19	水	かわらばん 22 号発行	
	5	木	ふれあい広場反省会出席		21	金	飯能市福祉教育アドバイザー (吉田, 岡田, 城下)	
	18	水	ふれあい広場実委会出席		26	水	台南小 6 年募金伝達式	
	23	月	町田狭山市長葬儀参列 (吉田、山川、平塚)		12	3	水	忘年会(33 名)
7	2	水	運営委員会		7	日	つつじ苑 X マスショップ バザー(田内。春原)	
	9	水	大掃除(35 名)		10	水	大掃除(35 名)	
	14	月	台南小育心学級と交流		12	金	台南小 6 年有志募金による テーブルのおひろめ	
	22	火	福祉教育アドバイザー打 合せ (吉田、岡田)	1	14	水	運営委員会	
8	6	水	運営委員会	2	4	水	運営委員会	
	22	金	福祉教育アドバイザー打 合せ (吉田、岡田、城下)		13	金	臨時運営委員会 総合学習協力、柏原小 (吉田)	
9	3	水	運営委員会		20	金	台南小 4 年総合学習発表 会(12 名)	
	12	金	ボランティア体験 淑徳 短大生、立教大生各 1 名		3	3	水	運営委員会
	16	火	SaI の街福祉バザール実 行委員会 (平塚)				ふれあい広場実委会出席	
	24	水	台南小運動会		24	水	水富公民館福祉スクール 見学 15 名	
	26	金	障害者福祉ヒアリング 市役所にて (吉田他 4 名)		25	木	台南小卒業式参列	
10	1	水	運営委員会		31	水	花見 智光山公園(35 名)	
	8	水	総合学習協力 富士見小					
	11	土	SaI の街福祉バザール					

編集後記

気楽に集える場所が欲しい障害者の思いと、それを支える心優しい人々の気持ちがひとつになってできた「工房夢来夢来」。その成り立ちから関わった一人として、十年という節目感慨深いものがあります。記念誌の編集に携わり、皆さんから寄せられた、(心の声)に目を通してながら、十年を振り返る時、さまざまな思い出が甦ってきます。大いなる期待とそして不安、徐への船出でした。そして始まった柏原での半年間は今思い返してみても、たった半年だんたのかと思うほど、いろいろなことに挑戦しましたっけ。まさに夢来夢来 黎明期だったといえます。そして移転。狭山台南小に来てからは、児童たちとの交流に私達はたくさんの元気を貰いました。

立ち上げにご尽力された田内さん、それを引き継いだ田中さん、現在の吉田さん、三人の代表のご苦労は大変だったと思います。が、この場所が大好きな障害者、それを大切に受け止め支えたボランティア。それがこの十年に繋がったのだと、いま心からそう思います。

最後になりましたが、記念誌作成に際しガイドヘルプボランティア彩の道の伊藤三郎様、(有)ミネ五十子印刷様に大変お世話になりましたこと深く御礼申しあげます。

そして編集委員のみなさんご苦労様でした。これからも楽しい夢来夢来であり続けることを祈りつつ。

編集委員

吉田 幸子	山川 早苗
阿部 陽子	岩野 益子
小野 孝子	金井 澄子
國重 弘子	五木田 滝子
城下 登志子	田内 かつえ
中田 亜由美	中村 友樹
平塚 昭一	星野 トリ子
三浦 京子	明神 知加子

工房夢来夢来開所十周年記念誌

かわらばん

発効日 平成十六年十一月二十六日

発行所 工房夢来夢来

代表 吉田 幸子

住所 狭山市狭山台四一二十五
狭山台南小学校内

電話 〇四-二九五六-五三六四

[http://www.ne.jp.asahi/muku/muku/](http://www.ne.jp/asahi/muku/muku/)

E-mail: id3a-nkt@asahi-net.or.jp